TOYOAKE

議員全員で
災害に備える

とよあけ 市議会だより No.269

特集 とよあけ広報大使に聞きました

令和８年 ８月緊急議会
令和８年 ９月定例月議会

2026年 11月号

タイトル　議員研修会
（名古屋大学減災連携センター）
詳細はTopics17ページをご覧ください。



とよあけ広報大使に聞きました



豊明の魅力を発信する「とよあけ広報大使」の活動を、市民の皆さんに届けたいと特集しました。広報大使と市議会。立場や役割は違っても、市の発展と市民の幸せを願う思いは共通です。それぞれの豊明への思いや夢、議会への期待をご紹介します。



From 2016.11.6

二村山から紅白へ夢を追い続ける
ヨシカネタクロウさん

Profile

シンガーソングライター。J:COMパリ2024パラリンピックのエンディングテーマ曲『ありがとう』や、国際交流授業を行うNPO法人のテーマソング『きみをしりたい』など、多くの楽曲を提供。オリジナル作品は15年連続リリース。



「むかしと変わらない二村山が好き」と語るヨシカネさんにとって、二村山は子どもの頃の業間マラソンやキャンプの思い出が詰まった特別な場所です。展望台で自ら撮影した映像をライブでも使用しています。

広報大使として「もっと役に立ちたい。そのためには自分がもっと有名にならないと」と話すヨシカネさんの夢は、紅白歌合戦への出場です。東日本大震災をきっかけに、今も毎年、陸前高田市の公営住宅を訪問し歌を届けています。「まるで同窓会のよう」と語るほど第二のふるさとになっているそうです。

市民へのメッセージとして、「楽しくするのも、つまらなくするのも自分次第。まちづくりも、議会や市長任せではなく、起きていることをどう捉えるかは“自分次第”と考えることで、豊かで明るいまちになっていくのではないでしょうか」。最後に「議会を一度傍聴してみたいですね」と、ふるさと豊明の未来にも関心を寄せています。





From 2025.8.3

豊明の魅力を踊りで届ける
豊明乱舞
土谷祥代（つちやさちよ）さん（4代目代表）

Profile

どまつりダンスチーム。にっぽんど真ん中祭り（どまつり）に22年連続出場。メンバーは2歳から70代までの20人。「桶狭間古戦場まつり」「豊明夏まつり」で演舞するほか、県内各地のどまつりチームが集まる「豊明秋まつり・縁舞祭（えんぶさい）」では企画・運営も担っている。



3世代で参加する家族もいる同チームは「踊りをそろえることより、踊り手も観る側もHappyになれること」を大切にしています。鳴子を使わず、毎年テーマを決めて豊明の魅力がギュッと詰まった4分間の踊りで表現しています。

コロナ禍前までは、高齢者施設への慰問も行っていました。「涙を流す方もいて、私たちも皆さんから元気をもらっていました」と振り返り、「依頼があれば、また慰問を再開したい」と話します。広報大使として活動することには、責任を感じつつも「楽しさの追求は変わりません」。

議会については、「女性議員が少ないですね」と率直な思いを語り、「デジタル活用で若い人の声をもっと届けやすくしてほしい」と期待を寄せます。市民の皆さんへは、「私たちの踊りを通して、豊明の魅力を思い出していただけたらうれしいです」「仲間が増えると表現の幅が広がります。一緒に踊る仲間を募集中!」とメッセージを送ります。





From 2025.8.3

夢は「沓掛城の再建」
愛笑（あいえ）むさん

Profile

シンガーソングライター。2005年に活動開始。2021年に『ミュージックステーション』出演、全国でライブ活動や楽曲・映像制作も。前後駅前の夜カフェ運営にも参画。沓掛中出身。
代表作『ギネスブックには載っていない幸せのハードル』。



「幸せは他人と比べることじゃない」。静かな語り口でそう話す愛笑むさんの音楽の原点は、中学の文化祭で初めて経験したバンド演奏。競争ではなく、同じ世界観でつながれた仲間「沓中軍団」は今も大切な存在。思い出として「沓掛の田んぼで見た蛍」や「学校の渡り廊下」を挙げます。

音楽については「身体全体で“波”を感じて聴くもの」と語り、言葉を丁寧に選ぶ姿は、まるで哲学者のようです。「社会の問題解決に向けて音楽を続けてきたが、答えはまだ出ていない」としつつ、ファンに“価値ある時間”を届けるため、自分にできることを実践し続けています。

夢は「沓掛城の再建」。「文化や歴史はその場にあるもの。流行じゃない“つまらない”と思われるものをエンタメとして届けたい」と話します。

議会については「国会議員よりも地元を変えられるのは地方議員だと思っている」と述べ、市民へは「豊明は一番好きなまち」と笑顔でメッセージを寄せてくれました。これからも“愛”を届け続けます。





From 2026.6.11

豊明愛を力に変え挑戦を続ける
ジャングル叫女（きょうな）さん

Profile

大学時代は陸上競技ハンマー投げでインカレ出場。青年海外協力隊の体育教師として2年間アフリカに滞在。帰国後は女子プロレス団体スターダムに所属しプロデビュー。2021年からはフリーとなり、国内外で活躍。
豊明市消防団員。



「何をしてもうまくいかない時こそ、原点回帰。豊明に戻り、感謝の気持ちを大切に過ごしてきたことで、新たな出会いにつながった」と歩みを振り返ります。子どもの頃は、大好きなおじいちゃんと三崎水辺公園で遊んだことや、豊明駅周辺でツクシを採った思い出があると話します。

今夏にはイギリス遠征で1週間滞在。夢は豊明で女子プロレス大会を開催することで、「多くの市民のみなさんにプロレスの良さを知ってほしい」と目を輝かせます。消防団員として火事現場で先輩の姿を間近に見た経験から、訓練にもより力が入るようになったと言います。

議会は「市民が選んだ議員が、まちをよくするために意見を出し合い、話しあって提案や改善点が生まれるところ」。国会中継を見て「はっきり物事を言える姿に憧れた時期もあった」と話します。東京での生活を経て、豊明の良さや人のつながりに心救われたと言い、「豊明愛は誰にも負けません。全国に豊明の魅力を発信していきますので、応援よろしくお願いします」と力強く語ります。





9月定例月議会議案等の審議結果

９月定例月議会は、８月25日から９月18日までの25日間にわたり開催し、令和７年度の各会計決算の認定議案８件、議案10件、請願１件、決議案１件、意見書案１件を審議しました。

※議長は採決に加わらない　○：賛成　×：反対　除：除斥

議案名（概要）	審議結果	清和 岡島ゆみこ	清和 青木けんじ	清和 鵜飼貞雄	清和 いとうひろし	清和 服部龍一	清和 毛受明宏	清和 近藤ひろひで	市民派の会 浅井たかお	市民派の会 こんどうのぶお	市民派の会 林ゆきひろ	未来クラブ 中堀りゅういち	未来クラブ 武谷としお	公明党 鈴木智和	公明党 一色美智子	日本共産党 郷右近修	たんぽぽ ふじえ真理子	清澄 清水義昭	ひまわり 堀内ちほ	市政クラブ 三浦桂司	青磁 月岡修一
令和７年度豊明市一般会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和７年度豊明市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
令和７年度豊明市土地取得特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度豊明市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和７年度豊明市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和７年度豊明市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
令和７年度豊明市水上太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和７年度豊明市下水道事業会計の利益処分及び決算認定	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任について（外山 明（阿野町）を任命、任期は３年）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命について（南 寿樹（大久伝町）を任命、任期は３年）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市行政手続条例の一部改正について（行政手続法の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市税条例の一部改正について（地方税法等の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
豊明市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について（廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について（出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
豊明市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について（地方自治法施行規則の一部改正に伴う改正）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度豊明市一般会計補正予算（第６号）について（福祉体育館トイレ改修工事設計業務委託料等約7,800万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和８年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について（特定健康診査(集団)委託事業にかかる債務負担行為の追加）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和８年度豊明市一般会計補正予算（第７号）について（楽曲使用料50万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■報告

健全化判断比率の報告について（本市の財政の健全化判断比率、資金不足比率の報告）	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
放棄した債権の報告について（時効期間の満了に伴う債権の放棄）	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし

■決議案 ※5ページに詳細を記載しております。

月岡修一議員に対する辞職勧告決議案	可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除

■意見書案 ※5ページに詳細を記載しております。

「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■請願

「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願	採択	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

８月緊急議会議案等の審議結果

８月緊急議会は、８月７日に開催し、議案1件を審議しました。

※議長は採決に加わらない　○：賛成　×：反対

議案名（概要）	審議結果	清和 岡島ゆみこ	清和 青木けんじ	清和 鵜飼貞雄	清和 いとうひろし	清和 服部龍一	清和 毛受明宏	清和 近藤ひろひで	市民派の会 浅井たかお	市民派の会 こんどうのぶお	市民派の会 林ゆきひろ	未来クラブ 中堀りゅういち	未来クラブ 武谷としお	公明党 鈴木智和	公明党 一色美智子	日本共産党 郷右近修	たんぽぽ ふじえ真理子	清澄 清水義昭	ひまわり 堀内ちほ	市政クラブ 三浦桂司	青磁 月岡修一
令和８年度豊明市一般会計補正予算（第５号）について（豊明全市民参加型物価高対策事業　約147万円の追加補正）	可決	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

決議

９月定例月議会の９月18日に決議案１件について審議し、可決しました。

月岡修一議員に対する辞職勧告決議案

月岡修一議員に対する辞職勧告決議案 月岡修一議員においては、同僚女性議員に度重なるセクハラ行為を行ったことが被害議員の告白で発覚し、豊明市議会議員政治倫理審査会において、政治倫理基準に抵触する行為と認定され、議会出席７日間の出席自粛の措置が勧告されました。

また、昨年５月にも、本会議や委員会において居眠りを繰り返している等の理由により、市民から審査請求が提出され、同じく議会出席７日間の出席自粛の措置が勧告されています。

月岡修一議員は、現在８期目で30年以上議員を務め、これまでに議長３回、監査委員２回など、議会の要職を歴任し、豊明市議会議員を代表する重鎮であり、他の議員の模範となるべき立場にあると言えます。

にもかかわらず、審査対象となっていなかったセクハラ行為をはじめ、本会議場での謝罪後でも複数の女性議員へ不適切な言動も確認できました。また、市民生活にかかわる重要事項を議論する本会議や委員会においても、引き続き頻繁な居眠りが見られるなど、反省や改善の姿勢が見られません。これらの行為が今後も継続されることを踏まえると、もはや豊明市議会議員としての品位を保持し、責務を果たすことは難しく、議会として政治的責任を求めざるを得ません。

よって、月岡修一議員には、すみやかに豊明市議会議員を辞職されるよう勧告いたします。

令和８年９月18日

愛知県豊明市議会

※９月定例月議会には上記の内容で決議案提出がなされましたが、６行目「監査委員２回」は正しくは「監査委員３回」の誤りでした。

意見書

９月定例月議会最終日の９月18日に意見書案１件について審議し、可決しました。

「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

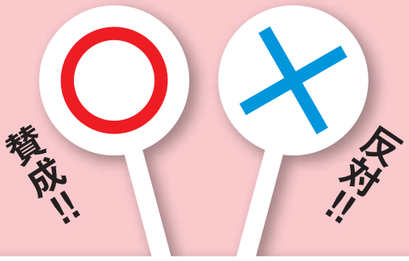
未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて、日々真摯に教育活動に取り組んでいるものの、いじめや不登校など子どもたちをとりまく教育課題は依然として解決されていない。また、特別な支援や日本語教育を必要とする子どもも多く、一人ひとりに応じた適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。本年度は、2028年度までの「新たな『定数改善計画』」が策定され、中学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられるほか、養護教諭の複数配置基準が小・中学校いずれも50人引き下げられることとなった。また、小学校４年生の教科担任制の拡大や、小・中学校における生徒指導担当教師の配置充実などのための教職員定数改善が盛り込まれた。しかし、概算要求に示されたものに比べ、養護教諭の複数配置基準の引き下げ幅が100人から50人に縮減されているなど、定数改善が大幅に見直されており、子どもたちの健やかな成長を支えるための施策としては、不十分なものであると言わざるを得ない。少人数学級は、地域・保護者からも一人ひとりの子どもにきめ細かな対応ができるという声が多く聞かれる。山積する課題に対応し、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を行うためにも少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。 また、子どもたちが全国どこに住んでいても、均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、２分の１から３分の１に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を２分の１へ復元することは、国が果たさなければならない大きな責任の一つである。

よって貴職においては、来年度の政府予算編成にあたり、「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率２分の１への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書送付先
内閣総理大臣他４大臣

主な議案審査の中から

何がどのように決まったのか



総務委員会

令和８年度豊明市
一般会計補正予算（第６号）

1 議案が提出された背景

チョイソコとよあけは、運行開始から約７年が経過し、市内での移動手段として定着しており、市民にとってなくてはならない行政サービスとなっています。登録者数の増加に伴い生じている、「予約が取れない」「運行本数が不足している」といった課題を解決するため、６月議会で認めた運行車両を現状の２台から３台に増車し、また２月から運行実証するための経費増加になります。

2 主な答弁

■301万円増の積算根拠は現状２台を３台に増車しますので運行時間の朝･夕方３.５時間の拡充１台増車する費用になります。
■運行時間拡充については１年程度の実証を想定しています。
■公共交通はバランスをもって調和して長く続けていくという事が１番大切なことになります。

3 議案に対する主な意見

×の意見

１台増車と時間延長によりチョイソコ事業は１件当たり3,000 円を超えてしまうのではないでしょうか。
ベストミックスと言われるならバス増車の検討、タクシー補助などコスト比較、費用対効果など比較検討を十分に行うべきです。反対。

○の意見

６月補正で認められた１台増車に加え、運行時間が延長されることで市民の移動の選択肢が広がりより利用しやすくなると評価します。賛成。

決 賛成多数により原案のとおり可決しました。



健康福祉委員会

令和８年度豊明市
一般会計補正予算（第６号）

1 議案が提出された背景

当初予算の編成後、物価や人件費の上昇などにより、一部事業で必要となる経費の見直しが生じました。
また、老朽化した施設設備の不具合による修繕や、福祉サービスの利用増加への対応が必要となったほか、介護人材の確保・定着に向けた支援の必要性も生じています。
こうした年度途中の状況変化に対応するため、必要な経費を追加するものです。

2 主な答弁

■総合福祉会館修繕料は館内放送が設置から37年ほど経過しており、昨年度末に不具合が発生しました。火災報知機故障との関連はありません。
■介護人材資質向上事業費補助金は、介護職員初任者研修費用を負担し、事業者を通じて補助を行う形と受講者に直接補助する形があります。今後増える需要に対し市内の事業者に人材が定着してほしいため、事業者への補助額を多くしています。

3 議案に対する主な意見

×の意見

全庁的に事後保全型となっていることは否めない。現状のままでは大事故につながる恐れもある。

○の意見

市民に寄り添った事業なので賛成。

決 賛成多数により原案のとおり可決しました。



建設文教委員会

令和８年度豊明市
一般会計補正予算（第６号）

1 議案が提出された背景

ＰＲキャラクターであるのぶなが君とよしもと君の着ぐるみの新調。小学校の別室登校適応指導業務について、教員の負担を減らすため、会計年度任用職員の業務日数を増やします。土地改良事業の皿池、洞洼洞池（どうがいどういけ）、若王子池（にゃこうじいけ）の耐震対策工事の前倒しで負担金増と、境川堰管理費負担金は刈谷市からの通知された修繕費の半分の金額を負担するものです。

2 主な答弁

■ＰＲキャラクター着ぐるみは、耐用年数５年程度のところ、現在12年目に入っていて、前が見にくい状態です。また、バルーン方式であり、空気漏れも発生しているため、通気性や着易さの改善を含めたリニューアルを行います。
■適応指導業務は現状、各小学校に別室登校児童が数名程度おり、週３日を週４日に業務日数を増やします。
■境川堰の袋体の破れた箇所の修繕です。破損部分は、現地ではなく、写真で確認しました。

3 議案に対する主な意見

×の意見

境川堰管理費負担金について、刈谷市と協議されているとは思えず、本市のメリット、妥当性が分からない。

○の意見

農業用施設の耐震化や境川堰の管理費など、地域の安全と基盤整備に関する事業が盛り込まれている。PR キャラクター制作は、観光振興や地域の魅力発信を図る内容である。

決 賛成多数により原案のとおり可決しました。



令和７年度決算認定

議会へ提出された令和７年度の市の決算について、議長と議会選出の監査委員を除いた17名の議員で構成する「決算特別委員会」を設置して審査しました。委員会は９月７日及び８日の２日間開催し、審査の結果、９月定例月議会の最終日に各会派が決算の認定・不認定等について討論を行いました。討論の要旨は以下のとおりです（文責は各会派にあります）。

清　和

令和７年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定、並びに企業会計利益処分及び決算認定に賛成

令和7年度普通会計は、歳入総額328億9,243万円、歳出総額314億988万円となり、市税収入は前年度比5.4％増となりました。一方、経常収支比率は92.6％に上昇しており、今後も限られた財源を効果的に活用した持続可能な財政運営を求めます。施策では、浄化槽設置補助金は県下８位に位置し、維持管理の補助を行い、また市制50周年記念の合唱会でフジタホール2000の魅力を市民に知っていただく機会となったことを評価します。生徒会提案事業については、生徒自らが課題を考え、提案に至る過程も、主権者教育につながる事業として更に発展することを期待します。墓園事業は社会状況の変化を踏まえた今後のあり方の検討を求めます。水上太陽光発電事業は、修繕が必要な時期を迎えるが、これまでの収益や一般会計への貢献を踏まえ評価します。下水道事業は、経営の効率化と計画的な施設更新を求めます。以上、決算の成果と課題を今後の市政運営につなげることを要望し、各会計の決算認定に賛成しました。

市民派の会

資料削減が続く市政運営　成果のみえない民間委託をやめ、必要な課題対策を

今回の決算審査で、資料の削減や請求資料を勝手に削るなど、情報を隠す姿勢が見られた。決算は市政の１年間の成果を検証する最重要の場であり、次年度に向けた対策の確認が必要。一般会計では民間委託の拡大が止まらないが、公園管理や公共施設管理など、費用に見合う成果が確認できず、本来は校舎改修に充てるべき教育基金が児童クラブの民間委託料増加に使われていた。バリアフリー工事の確認、違法建築の指導件数、農業振興地域アンケートなど、成果を把握しておらず、対策が必要な田んぼダムや地域包括支援センターの増員など、できていない。以上の理由で一般会計に反対。国保、後期高齢者医療は保険料を更に引上げ、市民に重い負担。介護保険は高い介護保険料を徴収し基金に積立て、介護サービスが不十分。墓園管理は、民間活用の成果も乏しく、墓じまいが増えているが対策できていない。下水道会計は、旧農排地区の不明水対策が不十分で、経営努力が足りないため、これらには反対した。

未来クラブ

令和７年度一般会計、各特別会計、企業会計利益処分及び決算認定に賛成

本年度の一般会計は、物価高騰などの課題に対応し、将来を見据えた前向きな投資を進めた点が特徴です。重層的支援体制の強化や、子育て世帯の経済的負担を軽減する高校生世代までの医療費窓口無料化、教育環境のデジタル化を進めるGIGAスクール構想、今後のまちづくりの指針となる都市計画マスタープラン等の三計画一体改訂など、市民の皆様がより快適に暮らせる環境の実現につながる施策を展開しています。予算の大きな変動としては、未来を見据えた重要な政策投資により、市債の総額が約18億円となり、昨年度から約13億円増加しました。その大きな要因は、間米南部土地区画整理事業の推進に充てられた約11億円です。さらに、公共施設の長寿命化として、学校施設改修事業に約３億5,000万円、公園整備事業に約１億7,000万円を充当しています。特別会計においても、それぞれの目的に沿った事業を着実に進め、市民生活を支える役割を果たしています。

公明党

令和７年度一般会計・各特別会計・企業会計利益処分及び決算に賛成

決算で大切なのは、予算を「いくら使ったか」だけではありません。その予算が誰に届き、市民の暮らしにどう生かされたのか。豊明市公明党は、この視点から令和7年度決算を評価しました。物価高など厳しい環境が続く中、ひきこもり相談やオンラインでの居場所づくり、高齢者タクシー運賃助成の対象拡大、赤ちゃん訪問や産後ケア、校内フリースクールの設置など、市民生活に身近な施策が進められました。また、限られた財源の中で、必要な行政サービスを維持しながら、将来を見据えた財政運営を進めることも重要です。各会計についても、それぞれの目的に沿って必要な事業が実施されたものと評価しました。事業費の大小だけでは、その価値は測れません。困っている一人に必要な支援が届くことも、決算の大切な成果です。
公明党は、これからも市民一人ひとりの声を原点に、必要なところへ必要な支援を届け、安心して暮らし続けられる市政を求めていきます。

日本共産党

令和７年度一般会計決算に賛成

令和7年度は米不足と価格高騰、クマによる人的被害、敗戦から80年の節目に平和な社会を求める世論も広まった。学校給食の物価高騰対策として１億２千万円投入され、放課後児童支援員等には月額９千円の処遇改善がされた。年度中に補正予算が施され、図書館の本の購入数が維持された。戦後80年の記念事業に予算を設けて、平和行政が推進された。滞納整理の業務が不正確と判明した。担当者の能力に依存した仕組みについては改めるべきことと考えた。

たんぽぽ

行政の透明性が後退　問われる市長の責任

一般会計ほか４会計に反対、介護保険など４会計に賛成。財政指標は概ね良好な一方で、行政運営に不可欠な「精査」「分析」「公開」「改善」の４機能が弱まっている状況が多分野で見受けられた。①民間水準より高い積算が常態化②墓園は未利用区画が年々増加、将来需要を見越した再構築を③田んぼダム治水は事業完了までに38年もかかるペース④242万円の土木工事13件の合理的説明はなし。透明性の後退は行政にとって深刻な問題。市長の責任が問われる。

清　澄

令和７年度決算認定に賛成

令和7年度に行った主要な事業は、
・間米南部地区の市街地整備
・三崎水辺公園のリニューアル
・農排の下水道統合および合併処理浄化槽設置への補助
・立上り消火栓設置、撤去等への補助
・高齢者タクシー運賃助成
など。暮らしの維持向上や経済負担の緩和、安心安全の確保がなされた。今後に期待を込め賛成とする。

ひまわり

令和７年度、一般会計・各特別会計各決算認定について賛成！

令和7年度の日本経済は緩やかな回復を続けつつも、一方では食料品など身近な物の価格上昇が続き、個人消費の回復は賃金・所得の伸びに比べて力強さを欠いた状況であったが、豊明市は持続可能で健全な財政運営を図ることを基本とし、市民の声に耳を傾け、市民にとって重要で優先度の高い事業を進められた。主要施策では◇高齢者タクシー運賃助成事業◇母子保健事業◇三崎水辺公園改修事業など。将来を見据え適正な市政運営をされた決算に賛成とする。

青　巒

令和７年度の決算に賛成

令和7年度の予算執行から見えてくるのは、豊明市は確実に発展をしてきているということです。街の風景が大きく変わりつつあること、刈谷市から豊明市に至る境川に橋が架かり豊明市内を通過し名古屋市に至る道路の早期開通に大きな期待を寄せています。近未来には住み良い魅力ある街として沢山の人々が挙って豊明市内に終の棲家として住まいを構えることが予想されます。今後の市長の手腕と、市職員の予算執行に誠意ある奮起に期待を寄せています。



一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について17名の議員が質問に立ちました。その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。
詳しくは各議員の欄にある二次元コードから動画をご覧ください。

ふじえ　真理子　議員
熱中症から市民の命を守るために

質問の趣旨

熱中症は屋外だけでなく室内でも静かに進行し、命を奪うリスクが高まっている。避難所生活や車中泊でも、暑熱環境によっては災害関連死の危険性も。熱中症リスク判定AIカメラや高性能気象IoTセンサーの活用、単身高齢者への見守り訪問強化、根本的問題の気候変動対策の本市の現状などを質問した。

答弁

熱中症による市内救急搬送者はR７年度51名うち30名が高齢者。リスク判定AIカメラ導入は時期尚早。気象IoTセンサーも今のところ導入予定はない。民生委員による訪問時期を早めることは検討中。CO_2は基準年2015年度から23年度までで約18.7%減。目標（46%削減）との差を埋めるため取組みを進めていきます。



コメント

現状のままだと2100年には名古屋の最高気温44℃の数字も！？極端な豪雨や渇水、農作物の生育不良など影響はすでに身近に。提案した機器の活用といった対症療法と同時に、2030年までに目標46%削減がかけ声倒れにならないよう、市全体のロードマップを市民に示すべき。その他【子ども＆大人の給食交流】を提案した。

いとう　ひろし　議員
地区計画と開発について

質問の趣旨

勅使エリアには多くの公共施設がありますが、一体化に整備をする考えは。また、藤田医大、中京競馬場、桶狭間古戦場の拠点を活かしたまちづくりについて市の考えは。近隣市町は大型施設や再開発が進んでいる。豊山地区の開発提案による交通渋滞や周辺環境に対する影響等は気になるが、本市の計画や方向性は。

答弁

勅使エリア全体の魅力を高めていくため民間事業者から様々な提案を受けています。第６次総合計画で、藤田医大及び桶狭間古戦場を含む中京競馬場駅周辺をまちづくりの拠点として、令和９年３月末までに新たな都市計画プランを策定します。また、豊山地区計画の策定の際には交通環境の確保に努めます。



コメント

豊ケ岡学園跡地について、戦時中に貧困や病気、戦争孤児らを引き取り子ども達の成長や自立を願い私財を投じて支えてきた人々の歴史が刻まれています。時代が変わり施設の役割や姿が変わっても、そこに込められた思いまで失われることはありません。私たちはこの歴史を次世代へ伝えていく必要があります。

三浦　桂司　議員
各区、各町内会の役員なり手不足について

質問の趣旨

①各地域で区長・町内会長さんなどの役員選任に苦慮している。役員が選任できない場合は。
②町内会への加入はどうなっているか。未加入者のごみ出し方法は。
市からの回覧物や、各種団体から募金が別々に来るが、負担にならないようにするには、どのような方法があるか。

答弁

①各町内、一人で担うのでなく複数人で助け合っていただきたいです。
②町内会への加入は任意ですが、犯罪や災害時に助け合う社会のため、加入をお願いしています。ごみ出しは未加入でも可能。回覧物はホームページでも掲載。募金への負担は認識していますが、地域の実状にあった方法で、工夫していただいています。



その他

その他、
豊明市の高齢化の時期やピーク、身寄りのない一人暮らしの高齢者の把握や高齢者への見守りサービスについて。
南海トラフ大震災への対応。
備蓄と通信対応について。
災害関連死を防ぐ対応、車中泊、感震ブレーカー補助についてなどを質問しました。

浅井　たかお　議員
南海トラフ巨大地震の減災目標と主な対策は

質問の趣旨

南海トラフ巨大地震はいつ起きてもおかしくないと言われながら、幸いにも現在のところ、その兆候はない。しかし、２度目の熊本地震や東北の地震を見て、豊明市で死者、建物損壊等の被害がどう想定されるか、減災目標やそれをどう達成するかなど、いくつか提案もしながら、現状と市の考えを伺った。

答弁

今年６月に県が南海トラフの被害予測を見直してマグニチュード8.8で被害想定し、本市の揺れによる建物倒壊200棟、火災による焼失10棟、建物倒壊での死者10人。国の減災対策として感震ブレーカー現状設置率20%を概ね100%にすると７割の減災効果。補助金より、通電火災と感震ブレーカーの認知度を上げていきます。



コメント

地震被害の減災対策は、圧死を防ぐために建物の耐震化と家具等の転倒防止対策を。発災時の停電からの復旧通電時の火災を防ぐには、感震ブレーカー設置が有効。感震ブレーカーの種類、金額は様々。感震ブレーカーに補助金が無いのは、尾三消防管内では豊明市だけ。ご一考を。

一色　美智子　議員
エレベーターの防災対策について

質問の趣旨

・エレベーターの整備について、今後対応を要する人荷用の９基についてどのように進めるのか伺う。
・エレベーター閉じ込め発生時の対応について伺う。
・災害拠点である市役所として、万一に備えた体制整備（実践的なマニュアルの整備・訓練）について伺う。
・防災チェアの設置について伺う。

答弁

施設の状況や財政を踏まえ、優先順位を見極め適切に進めていきます。
・停止機能やバックアップ電源により、閉じ込めの可能性は著しく低下。
・初動対応や手順を盛り込んだマニュアルを今年度中の完成を目途に進めていき、マニュアル作成に併せて訓練実施の検討を進めていきます。
・安全対策の中で検討していきます。



コメント

近年地震や停電により、エレベーターの運転停止・閉じ込めが全国で発生しています。そこで本市が管理するエレベーターの整備状況等について伺いました。その他に「健康寿命の延伸を目指した予防医療の推進」について質問をしました。

豆知識①　辞職勧告決議案とは…不祥事を起こした議員に対して、議会が「自発的に職を辞めるよう」勧める」ための提案です。

中堀　りゅういち　議員
官製システム移行について

質問の趣旨

本市におけるデジタル化推進の重要な一歩であると認識しておりますが、その一方で、当初期待されていた維持管理コストの削減、住民サービスの向上、職員の負担軽減といった目的が現時点でどの程度達成されているのか。ガバメントクラウドへのシステム移行作業における現在の運用実態について、見解を伺いました。

答弁

標準化の対象となっている20業務のうち、国が定める移行期限である令和７年度末までに戸籍と戸籍の附票、健康管理、生活保護、この４つのシステムが、一部経過措置の部分がありますが、標準準拠システムへ移行しております。令和８年度には介護保険システムの移行を予定しております。



コメント

ガバメントクラウドへの移行は、令和７年度末までに４業務が標準準拠システムへ移行し一定の進展が見られます。一方、維持管理コストの削減、住民サービスの向上、職員負担の軽減効果については現時点で具体的な検証結果が示されません。今後は効果の展開に対して注視して参ります。

鈴木　智和　議員
糖尿病予防の充実について

質問の趣旨

糖尿病は、自覚症状が少ないまま進行し、重症化すると合併症につながるおそれがある。予防には、健康状態を知り、生活習慣を見直すことが大切である。国立健康危機管理研究機構の「糖尿病リスク予測ツール」を活用し、発症リスクを知ることで、健康意識を高め、健診や受診、生活習慣の改善につなげてはどうか。

答弁

糖尿病を正しく知り、生活改善をすることがとても大切だと認識をしております。糖尿病リスク予測ツールは、糖尿病へのアプローチができるツールであると認識をしております。導入や周知について検討をしてまいりたいと考えております。市の公式ＬＩＮＥの活用など効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えます。



コメント

糖尿病は、早期に気づき生活習慣を見直すことが大切です。市はリスク予測ツールの導入や周知を検討し、相談窓口やＬＩＮＥを活用した情報発信に努める考えを示しました。「結果を見て終わり」にせず、健診・相談・受診など、健康づくりにつながればと思います。ほか、「平和啓発の充実」について質問しました。

服部　龍一　議員
中学校部活動の地域展開について

質問の趣旨

少子化などの社会情勢や学校における働き方改革が進む中、以前と同様の体制で学校部活動を運営していく事が難しくなってきています。子どもたちが生涯にわたって、スポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保するために、新たな「地域クラブ活動」へ移行する本市の取り組みの現在の状況について伺いました。

答弁

本年９月から開始する部活動地域展開での週末の地域クラブは、学校生活からは独立した活動となり、指導する方も地域の方やスポーツ関係者等が携わります。平日の部活動は変わらず継続します。また、地域クラブの運営の一部に充てるため、受益者負担として一か月あたり1,000円をいただくこととなります。



コメント

部活動の地域展開については、各市町によって、やり方も考え方も異なり、本市ではモデル事業の実施を経て指導員の募集についても、出来るだけ地域の人材を集める努力をされた事で、生徒たちにとってもなるべく環境の変わらない中での活動は、抵抗なく受け入れられる事と思います。今後に期待します。

青木　けんじ　議員
家屋の安全性や利便性について

質問の趣旨

災害時、自宅の安全性を高めることによって、自助の部分が広がるのではないかと考えます。自宅の屋外の安全対策や屋内での安全対策として推奨されることは何か。
また、住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金として蓄電池の設置補助を行っているが主たる目的は何か。災害時に活用はできないか。

答弁

安全対策では、屋根やアンテナ、ブロック塀のひびや傾きの点検、家具の固定や転倒防止、ガラスの飛散防止、照明器具の補強など。豊明市建築物地震防災の手引にも掲載。
蓄電池は家庭における脱炭素化の推進及びエネルギーの有効活用が目的で、災害時における非常用の電源として防災力の強化にも有効です。



コメント

災害時において、避難所生活ではプライベート空間を保つことが非常に困難だと思います。自宅の安全性を高めることが、精神面・体調面でも安心できる在宅避難につながると思います。
そのほか、伝統文化、天然記念物の保全やその魅力発信、教育現場におけるデジタル機器使用状況について伺いました。

武谷　としお　議員
今年度上半期における環境施策について

質問の趣旨

千葉豪雨や石川県、富山県で大雨特別警報が出て、内水氾濫による浸水被害が発生しているとの報道がありました。本市の下水道は、汚水と雨水を別々の管で集める分流式ということですが、本市は今後内水氾濫に対してどのような対策を進めていくのかを聞きました。

答弁

本市では、総合治水対策におきまして、浸水被害の対策を進めています。今後は市街化区域内の内水氾濫対策といたしまして、初めに吉池団地内の家屋の床下浸水被害解消を目指し、必要な施設の整備を進めてまいります。



コメント

2000年の東海豪雨をはじめ、日本各地で豪雨災害が頻発している現状を踏まえ、できる限り早めの治水対策、浸水被害対策をお願いしました。その他、ナフサ不足に端を発したごみ袋不足問題やごみ集積場におけるカラス対策、ため池ブルーカーボン事業について聞きました。

堀内　ちほ　議員
三崎水辺公園について

質問の趣旨

三崎水辺公園は大規模改修工事を終え、この春から利用可能となりました。駐車場の拡張、トイレの改修、園路舗装の改善等。夜間の公園利用者も増えたと思います。安全対策についての認識と、駐輪場設置、公園における照明の必要性等のお考えは。

答弁

公園は、市民の皆様の憩いの場、また、自然と触れ合う貴重な場として、日夜多くの方にご利用いただいておりますが、夜間の騒音、ごみのポイ捨て、園内への自転車の乗り入れといった問題がございます。適切な場所に駐輪スペースを、照明も近隣への光害を考慮し、総合的な観点から検討してまいります。



コメント

公園の改修によってトイレがキレイに維持されていること、小さな子どもたちが遊べる遊具周りの人工芝や、やわらかいゴムチップが敷かれたことで安全に子どもを遊ばせれるとの喜びの声が多くあります。歩きやすくなった園路も是非、散歩をしてみて下さい。

豆知識②　決算審査とは…地方自治体において、前の年度に使い終わったお金（決算）の使い道が正しかったかどうかを厳しくチェックする手続きのことです。

こんどう　のぶお　議員

昨今問題となっているノラ猫の対策を求めて

質問の趣旨

先日、ある方から「私の隣の空き家でノラ猫が子どもを産んでいます」と連絡がありました。猫の繁殖力はすさまじく、半年もたたずに成熟します。ノラ猫の問題は身近な地域の課題でもあります。他市では猫に関する条例もあり啓発がされております。行政及び地域の問題・課題としてすぐに取り組む必要があると考えます。

答弁

市長の答弁として、条例化につきましては、条例を制定することには柔軟に対応する方針を決めております。いろいろ本当に熱心に研究されて、自発的に自分の住んでいる地域を調べていることは非常にすばらしいと思います。条例について、条例までもっていくべきかどうかも含めて十分に検討させていただきたいと思います。



コメント

いずれにせよ早い段階でノラ猫を抑えないと費用がかさんでしまいます。それでいたちごっこになってしまう可能性があります。生活環境の改善、福祉の増進を考えて対応をお願いしたいと思っております。他に猛暑日が増える中、児童・生徒の暑さ対策は十分にできているかを質問しました。

林　ゆきひろ　議員

黒塗りの情報公開から、見える行政運営へ
（情報公開制度の改善を求めて）

質問の趣旨

本市の情報公開は、黒塗りが多く、事業者が関係すると開示まで何年もかかることがあります。公共施設や補助金の事業は、市民の税金で成り立つものです。にもかかわらず「民間ノウハウ」を理由に隠されると、市民は行政運営を正確に評価できません。情報公開制度を見直す必要があると考え、質問しました。

答弁

不開示部分は事業者の不利益になる可能性を慎重に判断した結果です。事業者の意見をうのみにしているわけではなく、市民の知る権利と事業者の利益保護のバランスを検討しています。処理が長期化する点は認識しており、改善策を検討します。積極的な情報公開に努めるが、制度の見直しなどは考えていません。



コメント

審査会は、抽象的な恐れを述べるだけでは不開示にできないとの指摘でした。市は情報公開に努めると言うが、事業者が参加しやすい環境づくりを強調し、具体的な制度見直しもなく、市民の知る権利を保障する姿勢が弱いと感じました。その他、新給食センター整備が遅延している問題について質問しました。

清水　義昭　議員

ふるさと納税で豊明市の税金が逃げている！

質問の趣旨

豊明市の住民は居住地である豊明市に納税する義務があるが、ふるさと納税制度は自由意思で納税先を選択することができることとなっている。豊明市は他自治体から受け入れるふるさと納税の寄附額よりも市民が他の自治体に寄附をする額が多い、いわゆる流出超過の状態となっている。認識と対策について伺う。

答弁

昨年度の豊明市の寄附受入額は約1,733万円で、流出額は約２億8,526万円。
ご指摘いただいた事は市民の方々に全然PRできていないことも確かなので、市民の皆さまにも改めて、このふるさと納税の市政におけるデメリットを十分にPRしていきたいと思います。



コメント

ふるさと納税をネット通販サイトの延長上と考えている市民は少なくないと思います。豊明市はもともと財源が足りていないためこれ以上税の流出が続くと道路の補修が困難になるなど市民生活に影響も。他にも１件質問をしています。上の二次元コードから質問の動画をご覧いただければと思います。

岡島　ゆみこ　議員

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料について

質問の趣旨

私たちの生活を支える重要な社会保障制度であり、複雑な制度の情報提供や説明の在り方について以下の質問をしました。①各保険について、保険税、保険料が決定される仕組み②各制度について、市民への情報提供、説明の現状③保険税、保険料の負担を将来的に適正化するため、市民と行政が取り組めること

答弁

国保は県と市、後期高齢者医療は広域連合と市、介護保険は市が運営し、年齢や所得等により保険料の決まり方や徴収方法が異なります。各制度についてホームページや小冊子等で情報提供していますが、複雑な制度を分かりやすく伝えることが課題です。将来の負担を抑えるには、健康づくりや適切な受診が重要です。



コメント

保険税・保険料を「高い」と感じた時こそ、なぜこの金額になるのか、仕組みを知ることが大切です。将来の負担を少しでも抑え、次世代へ支え合いの制度をつなぐため、適正な医療の提供、適切な受診や薬の使用、行政による健康づくりや疾病予防への支援が必要だと考えます。

郷右近　修　議員

選挙の投開票等について

質問の趣旨

選挙の投開票実務の負担軽減が課題になっているなか、2024年に実施された事例ではかつてのような問題は起きず、近隣の自治体でも2027年４月の統一地方選挙で実施する（予定の）自治体が出て来た。これから広まると思われる電子投票を豊明市でも導入してはどうか、と考え質問した。

答弁

2003年に市議選が無効になった事例は、記憶装置の過熱で投票データを正しく記録できなかったことが原因。2024年の四條畷市、2026年の新富町が成功例となり、電子投票を実施する自治体が出てきています。
候補者の画面表示は総務省の技術的条件があり、過去の候補者数を見ると豊明市にも適していると考えます。



コメント

デモ機を使って祭りの会場や役所で実際の投票作業に慣れる工夫や、投票所の案内係の増員、点字投票や代理投票の併用など、成功した自治体の工夫がわかった。また、技術的条件のなかに白票を投票できる仕組みがあることも確認できた。夜間に70人の職員で２時間かけている開票の省力化はできると考えた。

鵜飼　貞雄　議員

子どもの未来への投資について

質問の趣旨

子どもは豊明市の未来そのものであり、子どもたちが安心して成長できる環境を整えることは、将来のまちづくりへの重要な投資であると考えます。子どもを取り巻く環境について、食や居場所づくりなど「子どもを守る」施策に加え、子ども自身が自ら考え、挑戦できる環境を整えることが重要と考え質問しました。

答弁

ご提案いただきましたとおり、まごころサポート便の対象世帯に対してアンケート調査を実施する際、夏休み期間等の食事に関するお困りごとや必要な支援などについて実態把握に努めます。またアンケート調査の結果等をふまえ、来年度以降のお届けする内容などについて、柔軟に対応してまいります。



コメント

子ども自身ではどうすることもできない理由で、十分な食事や安心できる環境を得られない子どもを、一人でも減らしたい。その思いから今回質問しました。行政はその声なき声に寄り添う必要があります。
子どもたちの「今」を守ることは、豊明の「未来」につながると信じています。

豆知識③　議会運営委員会とは…他の委員会とは異なり、「議会をスムーズに、円滑に動かすためのコントロールルーム」としての役割を持っています。

12月定例月議会の予定

次回は11月26日開催

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24	25	26 本会議 （議案上程、提案説明）	27	28
29	30	12/1 本会議 （一般質問）	2 本会議 （一般質問）	3 本会議 （一般質問）	4	5
6	7 本会議 （議案質疑、委員会付託）	8	9 総務委員会	10 健康福祉委員会	11 建設文教委員会	12
13	14	15	16	17	18 本会議 （委員長報告、討論、採決） 全員協議会	19
20	21	22	23	24	25	26

※上記は予定のため、日程等が変更される場合があります。 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

豊明市議会議員政治倫理審査会

豊明市議会は令和２年12月22日、豊明市議会議員政治倫理条例（以下条例という）を制定しました。この条例に基づき、令和７年12月19日に月岡修一議員に審査請求がありましたので、豊明市議会議員政治倫理審査会（以下審査会という）を設置し、審査を行いました。

審査請求の審査が令和８年８月10日に終了しましたので、報告いたします。

月岡修一議員に対する審査結果の概要

審査事由▶
①堀内ちほ議員が月岡修一議員からハラスメント行為を受けたとして、警察に被害届が受理されたとのこと。
②現職の女性議員や元議員も被害にあったとの証言もあった。

審査結果▶
- 一定期間の議会出席の自粛勧告の措置を議長に勧告すると決定した。なお、期間は令和８年８月25日より７日間とした。

審査の経過▶
- 一身上に関する事件のため豊明市議会委員会条例に準じ、堀内ちほ委員を除斥した。
- 委員長・副委員長を互選し、委員長　服部龍一議員、副委員長　郷右近修議員とした。
- 審査会の進め方を協議し、傍聴及び審査方法を決定した。
- 審査請求が審査会の審査に適するか否かを協議し、審査に適すると決定した。
- 堀内ちほ委員及び被請求議員に対して事情聴取及び弁明の機会を設け、調査を行った。
- 審査対象となる事由はいずれも事実であり、条例に定める政治倫理基準に抵触する行為であったと認定した。
- 政治倫理基準に抵触する行為であったと認定されたので、その措置を議長に対し勧告することを決定した。

Topics

議員研修会（名古屋大学減災連携研究センター）

令和8年 7/23

７月23日、全議員を対象とした議員研修を、名古屋大学減災連携研究センター（減災館）で実施しました。本研修は、議員として必要な資質を育み、政策形成能力の向上を図ることを目的に、今後想定される災害や減災対策について、研究成果や最新情報を学ぶものです。当日は、同センター長の鷲谷威氏から「南海トラフ地震と防災対策」をテーマに講義を受けました。南海トラフ地震の発生の仕組みや過去の地震、想定震源域、被害想定について説明があり、愛知県が公表した南海トラフ地震被害予測調査についても学びました。地震はいつ、どこで起きるか分からないことを前提に備える必要性や、巨大災害では行政だけでなく、地域や一人ひとりが主体的に対応することの重要性が示されました。施設見学では、地震の揺れを体験できる「BiCURI」や、東海地方の地理的特徴を立体的に見ることができる「３Ｄビジュアライズ」を見学し、災害を身近な問題として捉える機会となりました。また発災後の復旧だけでなく、平常時から社会・経済機能を維持する「レジリエンス」の視点も学びました。研修を通じて、南海トラフ地震への備えは、建物やインフラなどの対策に加え、日頃から地域で災害を想定し、情報を共有しながら備えることが重要であると改めて認識しました。今後も、今回得た知識を議会活動に生かし、本市の防災・減災対策について考えていきます。（鈴木）

豊明市消防団と豊明市議会 意見交換会

令和8年 9/18

市役所新館第1委員会室で、豊明市消防団と豊明市議会による団体別意見交換会を開催しました。「地域防災の最前線を守るための連携のあり方と課題について」をテーマに、消防団員の皆さんから現場の実情や課題を伺いました。意見交換では、大規模災害時の情報共有、若手団員の確保と育成、市民の防災・防火意識の向上について話し合いました。

情報共有では、ＭＣＡ無線が令和11年5月末でサービス終了となることや、訓練時・走行中に通信状態が悪いとの課題が示され、車載・中継用アンテナの設置や新たな通信手段について意見が交わされました。

団員確保に向けては、若い団員が意見を出しやすい環境づくりや、インスタグラム、ショート動画などを活用した消防団の魅力発信、団員を支える事業所への理解促進について意見が交わされました。また、阿野町火災での消防団と地域の連携を踏まえ、初期消火の重要性や消火器・感震ブレーカーの普及などが話題となりました。今回の意見交換を通して、地域・企業・行政・議会がそれぞれの役割を果たし、地域全体で消防団と防災を支えることの重要性を改めて認識しました。いただいたご意見を、今後の議会活動に生かしていきます。（鈴木）





豊明市内在住・在学・在勤の方から、表紙を飾る写真・絵画・イラストを募集します。

ご応募お待ちしています！

宛　先　〒470-1195
豊明市新田町子持松１番地１
豊明市議会　議会だより編集委員会

メール　gikai@city.toyoake.lg.jp

豊明市にゆかりのあるものや、季節感のある作品をお待ちしております。

氏名・住所・電話番号・作品のタイトル、写真の場合は撮影場所・日時を明記の上、お送りください。
作品は直接お持ちいただくか、郵送またはメールでお送りください。メールの容量は5MBまでです。現物の場合、返却のための発送はいたしませんので、掲載日から2カ月以内に引き取りにお越しください。以降は処分させていただきます。
ご自身が撮影、制作された、他の場で受賞していない作品に限ります。顔がはっきり分かる人物が写っている場合は本人（未成年者の場合は親権者）の許可を得ておいてください。
なお、表紙作品には題字等がかぶること、トリミング等を行う場合もあることをご了承の上、ご応募いただきますようお願い申し上げます。

表紙は議会だより編集委員会で選定し、採用された方にはご連絡いたします。2月1日発行分の締切は**12月3日（木）**です。
※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。



市民の声を市議会に届けよう！

開かれた議会を目指して

市民と議会との 意見交換会 兼 豊明市議会 議会報告会

この度、地域の皆様が抱えている問題や意見を直接市議会議員へ届けられる場として下記の日程にて開催いたします。

開催日時

11月14日(土)・21日(土)

10:00～11:30(受付時間 9:30～)

令和8年度の議会報告会、意見交換会について検討し、来場者の方からの意見や質問が、議会で審査した議案にとどまらず多岐にわたること、また、そうした意見交換に対する要望が強いことを踏まえ、従来分けて開催していたそれぞれの会を合わせて開くことにしました。



皆様のお越しをお待ちしています

栄中学校区にお住まいの方

11月14日(土)

場　所　南部公民館

参加議員　岡島、青木、鵜飼、郷右近、林、一色、清水

沓掛中学校区にお住まいの方

11月14日(土)

場　所　豊明市役所4階 第一委員会室

参加議員　鈴木、浅井、武谷、近藤(ひ)、三浦、月岡、毛受

豊明中学校区にお住まいの方

11月21日(土)

場　所　豊明市文化会館

参加議員　中堀、こんどう(の)、いとう、服部、堀内、ふじえ

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

主　催　豊明市議会

問合せ　豊明市議会事務局　電　話　0562-92-1121　メール　gikai@city.toyoake.lg.jp

H　P　右記の二次元コードにてご覧ください。市議会からの各種情報を提供しています。

編集後記

異なるジャンルで活躍する広報大使の皆さんに共通していたのは、「豊明を本気で愛している」という揺るぎない姿勢だった。

歩みの一端に触れるたび、涙も驚きも笑いも混ざる濃密な物語が立ち上がり、その視線の力強さにこちらの背筋が思わず伸びた。

彼ら彼女らの思いに触れ、議会も市民に誇りを届けられる存在でありたいと思った。（ふじえ）

発行：豊明市議会
編集：議会だより編集委員会
電話：0562-92-1121
メール：gikai@city.toyoake.lg.jp
詳しい情報は豊明市議会ホームページをご覧ください。
豊明市議会　検索
市議会HP

次回の議会だよりは２月１日発行